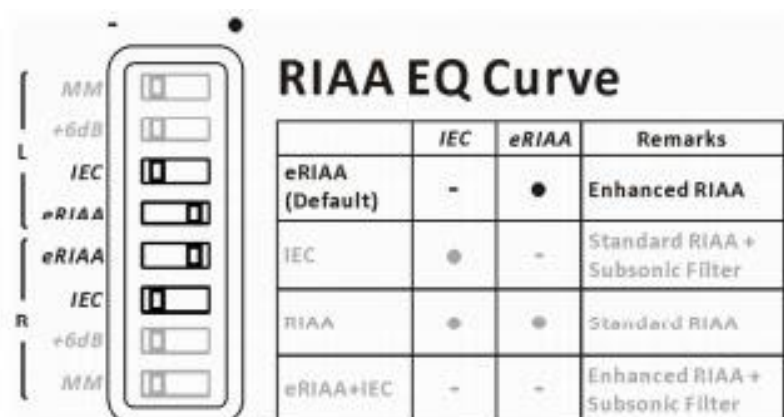


iFi iPhono - 4 ステップ接続&設定ガイド (ステップ 4: イコライザーカーブ)  
<http://ifi-audio-jp.blogspot.jp/2014/02/ifi-iphono-44.html>

接続と設定に関するご質問が多いフォノイコライザーiPhono の設定ガイドです。

#### ステップ 4: イコライザーカーブ

1枚1枚のレコードを適正に再生するには、適正なイコライザーカーブを用いなければなりません。これを適正に設定するには、2つのステップが必要です。  
 1: RIAA/eRIAA/IEC (工場出荷時の設定なので、通常はこの設定を変える必要はありません。)



2つの eRIAA マイクロスイッチは「●」 (右) の位置になければなりません。  
 2つの IEC マイクロスイッチは「-」 (左) の位置になければなりません。

	明細	説明
eRIAA (Default)	Enhanced RIAA EQ curve エンハンスド RIAA イコライザーカーブ	Extended High Frequency 高域が拡張されている
IEC	Subsonic filter サブソニックフィルター	For warped records 反ったレコード用
RIAA	Standard RIAA EQ curve 標準的な RIAA イコライザーカーブ	-
eRIAA + IEC	Enhanced RIAA EQ curve + Subsonic filter	Extended High Frequency + For

	エンハンスド RIAA イコライザーカーブ+サブソニックフィルター	warped records 高域が拡張されている +反ったレコード用
--	-----------------------------------	---

## 2: DECCA/RIAA/COLUMBIA

レコードが誕生した当初は、数多くの異なったイコライザーカーブが用いられていましたが、1954年、世界中のレコードレーベルが、すべてのレコードに RIAA イコライザーカーブだけを用いることに合意しました。しかし、すべてのレコードに実際に RIAA イコライザーカーブが用いられるようになったのは、やっと 1980 年代以降になってからでした（地球規模でただひとつの合意に達し、それをほんの 1~2 年の間に実行するのは、容易なことではありませんよね）。



間違ったイコライザーカーブを用いれば、レコードは「正しい」音では響きません。たとえば、1980 年以前にリリースされた DG（ドイツグラモフォン）のクラシックレコードは、乾いた、平坦な音に聞こえることがよくありますが、その理由は、それらのレコードが RIAA イコライザーカーブではなく、DECCA イコライザーカーブを用いて製造されたからなのです。

### 1980 年以前にリリースされたレコード

レコードレーベル	iPhono フロントパネルのイコライザースイッチ
	COLUMBIA(U <sub>p</sub> )
	RIAA(Middle)



注意：ヨーロッパで発売された EMI のレコードは、その多くが DECCA イコライザーカーブを用いています。アメリカで発売された EMI のレコードは、その多くが COLUMBIA イコライザーカーブを用いています。特に、もともと COLUMBIA/CBS でプロデュースされ、合併後に EMI レーベルで発売されたレコードはそれに当てはまります。

1980 年以降に発売されたレコードは、そのほとんどが標準的な RIAA イコライザーカーブを用いています。

この解説によって、皆様のレコードコレクションがより長い生命を保ち、ひいては皆様がいっそう音楽を楽しむのに寄与できればと願っています。